



合計特殊出生率2.6を達成している島根県邑南町

**問** う人材の育成発掘が重要と考  
えるが、市長の見解は。

**答** これまで「地域ビジョ  
ン」を地域と供創する概念を  
重視してきた。さらに地域プ  
ラットフォームとして、多様  
な主体を巻き込むプロデュ  
サー人材となる地域リーダー  
の発掘と育成に取り組んでい  
きたい。

**◆その他の質問事項**  
立地適正化と小さな拠点つ  
くり、線引き区域区分を持た  
ない都市のメリット・デメリ  
ット、地場産品と農業政策、  
パブリシティ活用戦略、来年  
度の松くい虫戦略等について  
質問した。

**日本共産党**  
質問者  
小澤 彰一  
柴田 博  
持ち時間90分

**市民生活を  
守り充実に  
させるために**

**◆観光産業について**

**問** 奈良井宿は、海外から評  
価され、外国人観光客が増加  
している。「アスティカたお  
か」が3月に閉館になるが、  
この施設も外国人誘客に対応  
させる考えはないか。

**答** 北アルプスを望む景観や  
温泉施設など環境が整ってお  
り、集客による地域の活性化  
が期待できると思われる。運  
営するJA共済福祉事業団が  
後継の企業をさがしている。  
外国人観光客への対応も含め  
今後の動向を見守りたい。

**問** 民泊新法が平成30年6月  
に施行される。県知事へ届け  
出れば家主が宿泊営業できる  
ようになる。現在県条例が検  
討されているが、市の見解は。

**答** 外国人旅行者への対応や  
空き家・空き室の活用などが  
期待されるが、既存宿泊施設



3月閉館が予定されている「アスティカたおか」

の経営圧迫や、騒音等による  
地域住民の生活環境への影響  
などが懸念される。本市を訪  
れる外国人観光客受け入れ体  
制改善の一環として、保健  
所・消防・警察などの関係機  
関と連携し研究していきたい。  
**◆バイオマス発電について**

**問** 着工の遅れに市民の関心  
が高まっている。計画では端  
材・未利用材合わせ18万<sup>3</sup>を  
燃料とするとしているが、20  
年以上にわたって安定して供  
給するため、労働力確保や所  
有者不明の民有林への対応な  
ど、出資者に木材供給への不  
安があるのではないか。

**答** 木材供給は4団体と協定  
を結んでいる。路網整備、高  
性能林業機械活用、林業従事  
者確保・育成など生産性を高  
める整備が、県森林づくりア  
クションプランに基づき進め  
られ、生産量は増加している。



太陽光発電所

**問** 松くい虫被害木を優先し  
て発電に活用できないか。ま  
た、排熱の利用は全くできな  
いのか。

**答** 虫被害材チップ処理の認  
定を受けている。排熱利用に  
ついては需要、コストの面か  
ら課題が多い。おが粉はペレ  
ットでの熱活用を検討中であ  
り、排熱の利用についてはプ  
ロジェクト関係者と連携して  
検討していきたい。

**◆再生可能エネルギー発電の  
ガイドラインについて**  
**問** 市の指針が出されたが、  
特に心配される、保守管理を  
どのように求めているか。

**答** 4月に施行された「再生  
可能エネルギー電気の調達に  
関する特別措置法」により、  
整備点検保守、事業終了後の  
設備撤去、認定情報の公表な  
どが義務付けられ、発電事業